

経営比較分析表（令和3年度決算）

兵庫県洲本市 洲本インターチェンジ駐車場

業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法適用	駐車場整備事業	-	A 3 B 2	非設置
自己資本構成比率(%)	種類	構造	建設後の経過年数(年)	
99.4	届出駐車場 其他駐車場	広場式	10	

立地	周辺駐車場の需給実態調査	駐車場使用面積(m ²)
無	無	2,624
収容台数(台)	一時間当たりの基本料金(円)	指定管理者制度の導入
209	300	無

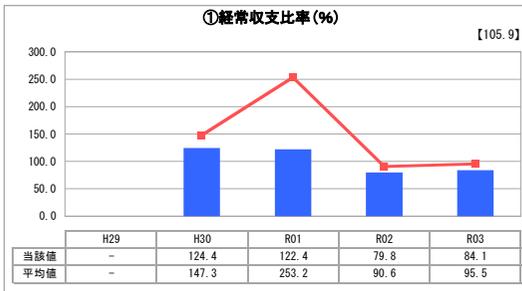
グラフ凡例

- 当該施設値(当該値)
- 類似施設平均値(平均値)
- 【】 令和3年度全国平均

1. 収益等の状況

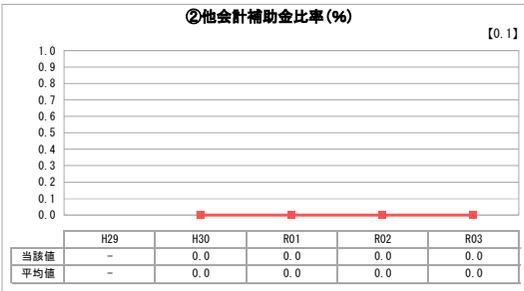
① 経常収支比率(%)

【105.9】



② 他会計補助金比率(%)

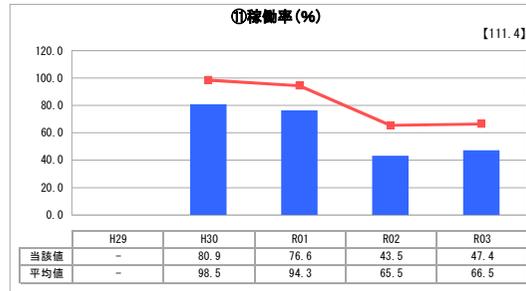
【0.1】



3. 利用の状況

③ 稼働率(%)

【111.4】



分析欄

1. 収益等の状況について
 経常収支比率については、令和2年度決算と比較すると緩やかに回復してきているが、依然として100%を下回っており、経常収支比率の改善を検討する必要がある。

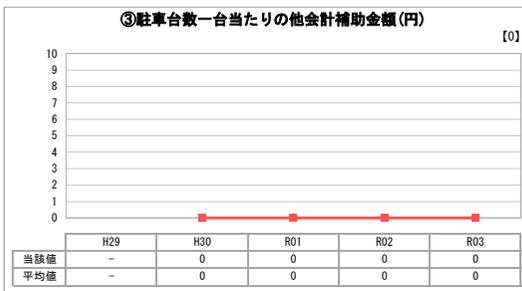
2. 資産等の状況について
 当駐車場の稼働率は、駐車場利用者のトイレを有している。有形固定資産減価償却率は43%程度となっており、有償機やその附属設備のほか、駐車場利用者のトイレの改修等を将来的に検討していく必要がある。

3. 利用の状況について
 当駐車場の稼働率は、全国平均と比較すると依然として低い状況であるが、昨年度からは少し回復してきている。
 当駐車場は、市街地から離れた郊外に立地しているものの、周辺には戸建て住宅などのまとまった住宅地があり、比較的若いファミリー層が居住している。また、島外への路線を有する高速バスの停留所が併設されていることから、利用者の多くは島外への買い物、レジャーなどの一般利用のほか、島外への通勤、通学での利用となっている。

全体総括
 当駐車場は、島外への買い物、レジャーによる利用のほか、通勤、通学による利用が多く、本年度は新型コロナウイルス感染症対策と社会経済活動の両立というライフスタイルが動き出したことから、利用者が少しずつはあるが戻りつつある。今後も、安定した経営を図るため、利用拡大につながるサービスを検討するとともに支出抑制の対策を検討していく。

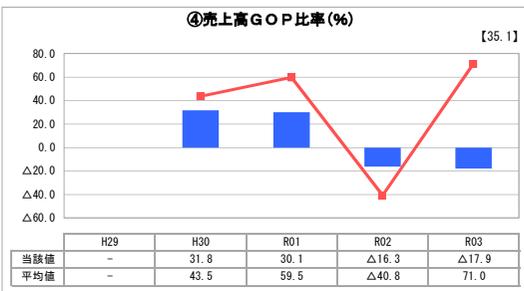
④ 駐車台数一台当たりの他会計補助金額(円)

【0】



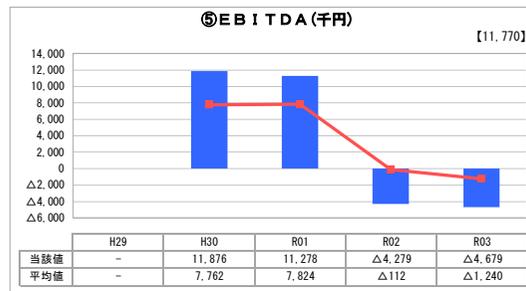
④ 売上高GOP比率(%)

【35.1】



⑤ EBITDA(千円)

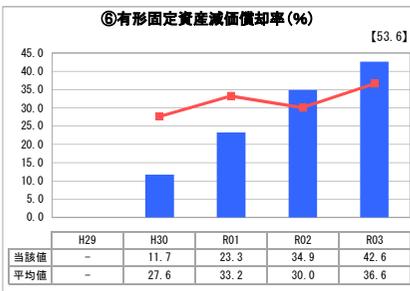
【11,770】



2. 資産等の状況

⑥ 有形固定資産減価償却率(%)

【53.6】



⑦ 敷地の地価(千円)

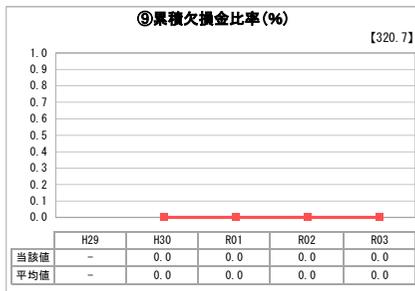
11

⑧ 設備投資見込額(千円)

1,000

⑨ 累積欠損金比率(%)

【320.7】



⑩ 企業債残高対料金収入比率(%)

【0.8】

